

令和4年度第1回 恵那市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日時：令和4年11月4日（金）午前10時～

場所：恵那市役所会議棟大会議室

1. あいさつ

柘植克久水道環境部長

江畑慎吾会長

2. 諮問

恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

3. 議事

議題1 恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

4. その他

5. 閉会

6. 会議の公開・非公開・・・公開

7. 出席者の数・・・20人中13人

	所属	氏名	継続・新規	出欠
1	大井地域自治区	吉田 純一		
2	長島地域自治区	井上 源二		
3	東野地域自治区	岡本 光美		
4	三郷地域自治区	足立 直揮		欠席
5	武並地域自治区	瀬瀬 鍊一		
6	笠置地域自治区	中谷 潔		
7	中野方地域自治区	柘植 円		
8	飯地地域自治区	瀬瀬 政行	新規	
9	岩村地域自治区	水野 隆造	新規	欠席
10	山岡地域自治区	水野 和一		
11	明智地域自治区	堀 育郎	新規	欠席
12	串原地域自治区	安藤 裕子		
13	上矢作地域自治区	中垣 芳秀	新規	
14	メガドンキホーテユニー恵那店	加地 洋樹	新規	欠席
15	パロー恵那店	迫 陵馬	新規	欠席
16	ケイナククリーン株式会社	近江 則明		
17	株式会社 恵那清掃工業	別府 裕二		
18	東栄製紙工業株式会社	高井 盛人		欠席
19	王子マテリア株式会社 恵那工場	吉本 巖		欠席
20	中京学院大学	江畑 慎吾		

敬称略

■事務局（進行） 皆さん、おはようございます。本日は当審議会に御参集いただきありがとうございます。委員の皆様はおそろいになっていますが、開会が 10 時からとホームページ等にも公開していますので 10 時開催とします。もうしばらくお待ちください。

■事務局（進行） まだ時間ではないですが、時間がありますので、会議に先立ちお手元の資料を確認させていただきます。「配布資料一覧」をご覧ください。事前に配布した資料が 4 点あります。（1）本日の審議会次第、（2）カラーの「一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」、（3）「恵那市一般廃棄物処理基本計画（概要版）」…資料 1、（4）「恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しに関する意見聴取について」…資料 2、です。

本日配布資料が 3 点あります。（1）審議会名簿・席次表、（2）エコセンター恵那パンフレット、（3）中津東地区長会から地域の皆様へのお知らせ、です。

資料はおそろいでしょうか。

開会

■事務局（進行） 定刻となりましたので、これより令和 4 年度第 1 回恵那市廃棄物減量等推進審議会を開会いたします。私は本日司会進行を務めさせていただきます環境課長の磯村です。よろしくお願いいたします。

本日の会議に当たり、コロナウイルス対策として、体温測定、マスクの着用に御協力いただきありがとうございます。また、名札の近くにウェットティッシュをお配りしておりますが、マイクをご利用される際に御利用ください。会議時間につきましては、1 時間半を想定し、午前 11 時 30 分を終了予定としております。御協力よろしくお願いいたします。

本日の審議会は、委員 20 名のうち 13 名と半数以上の出席をいただいておりますので、条例施行規則の規定により、会議が成立していることをご報告申し上げます。

また、会議の公開及び公表については、会議の公開に関する要綱に基づき、原則公開とし、会議録につきましても公表させていただきます。よろしくお願いいたします。

今年度 1 回目の審議会でございますので、委員の皆様お一人お一人を御紹介させていただくのが本来ではございますが、時間の都合上、委員名簿をもって委員の紹介とさせていただきます。また、新たに委員になられた方々には既に委嘱状をお渡ししております。よろしくお願いいたします。

1. あいさつ

柘植克久水道環境部長

■事務局（進行） これより次第に沿って進めます。まず、水道環境部長の柘植から挨拶申し上げます。

■水道環境部長 皆さん、おはようございます。本日はお忙しい中御出席をいただき誠にありがとうございます。市長が議会等の所用のため欠席となりますので代わって御挨拶申し上げます。

日頃、環境行政に大変御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。特に昨年度は地球温暖化対策実行計画の策定、環境基本計画の見直しにつき、大変御協力いただきありがとうございました。おかげをもちまして今年3月には計画書ができ、それをもって「ゼロカーボンシティえな」という宣言をさせていただきました。また、5月にはSDGs達成に向けた取組を先導的に進めていく自治体として、国からSDGs未来都市にも選定されました。今回は平成30年3月に策定した一般廃棄物処理基本計画が5年を経過しますので、見直しをしていきたいと考えております。

昨今、食品ロスやマイクロプラスチックなど、環境面での深刻な問題が取りざたされておりますが、エコセンター恵那では、年間1,300トンほごみを処理し、そのうち半分は水で、その大きな要因は、食品残渣による生ごみです。また、可燃ごみの中にも、リサイクル可能な紙やプラスチックが多く含まれており、廃棄物処理のあり方について、環境面、コスト面で大きな課題となっております。

SDGs未来都市に選定された本市としても、循環型社会の実現、持続可能な社会の実現のために、市民の皆様、事業者の皆様のお知恵をお借りしてこうした課題を解決していきたいと考えております。後ほど計画の見直しのポイント等の説明があるかと思いますが、委員の皆様のお忌憚のない御意見をお伺いして、実効性のある計画をしていきたいと思しますので、お手数をおかけしますが御協力をお願いいたします。

本日はよろしく申し上げます。

■事務局（進行） ありがとうございます。

江畑慎吾会長

■事務局（進行） 続きまして、江畑会長から一言御挨拶をいただきます。

■江畑会長 皆様、おはようございます。当審議会会長を仰せつかっております中京学院大学の江畑と申します。本日はお忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。本会議は、今後の恵那市の環境問題を考える上で非常に重要な位置付けを担っていると思います。委員の皆様それぞれの立場から忌憚のない御意見を頂くとともに、本日も慎重審議をよろしくをお願いいたします。

2. 諮問

恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

■事務局（進行） 諮問に移ります。条例の規定に基づき、柘植水道環境部長から江畑会長へ「恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」諮問書を手渡しします。委員の皆様には諮問書の写しを配布いたしますので御参照ください。

それでは、江畑会長、自席でお立ちください。

[水道環境部長が諮問書を読み上げ、会長に授与]

■事務局（進行） 議事に入ります。条例施行規則の規定により、会長が議長になると定めておりますので、議事進行については江畑会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

3. 議事

議題1 恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて

■江畑会長 ただいま諮問書を受領しました。この内容に皆様からまた御意見を頂きたいと思っております。改めてよろしくお願いいたします。

それでは早速議題に入ります。「恵那市一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■会長 ありがとうございます。大変ボリュームが多い内容だったと思います。これより審議に入ります。ただいまの説明で、特に 22 ページの見直しのポイントの部分に係り、委員の皆様より御意見を頂きたいと思っております。質疑、御意見はいかがでしょうか。

■委員 日頃市民エコ会議という団体でごみ減量に取り組んでいますので、その活動を通して意見を言わせていただきます。ごみ排出量の目標値は、4、5 ページで、年度別排出量は減っているんですが、1 人当たりの日平均排出量はずっと増加傾向です。排出量が減ったのは人口が減ったせいということだと思います。ですので、目標値を考える上で、排出量全体だけでなく、1 人当たりの排出量も目標値化する必要があると思います。

■事務局 1 人当たりのごみ排出量を削減した方がいいという御意見ですが、一般廃棄物の計画を作るに当たり、環境省から指針が出ています。その中に、1 人当たりのごみ排出量を推計しながら目標値を定めていくのがいいということが書かれていますので、その方針に基づいて計画策定したいと思います。吉田委員の御意見を反映する形になります。

■吉田委員 ただ、このごみ減量の取組がうまくいっているかどうかを見る上では、1 人当たりのごみの排出量がちゃんと確実に減っているかどうか大事な指標だと思いますの

で、指標に取り組むとか、それを見て削減がうまくいっているかどうかを考えるとかそういう盛り込みをしていただきたいと思います。

■会長 ありがとうございます。ただいまの件にかかわってほかに御意見、御質問はありますか。

■委員 今の発言に関係するかと思うんですが、要は、回収の量を増やすにはどうしたらいいかというのがポイントだと思うんです。今私どもの東野の方にもごみ回収所というのを作っていただいて本当に感謝しています。それで数値が上がってこないのは何だろうと思うんです。例えばアルミ缶だとキロ当たりどれだけとか、段ボールだとどれだけとか、いろいろ数値があると思います。よその市と比べると、もっと高いところがあるわけなんです。前回と前々回にも私は発言したと思うんですが、その数値を上げれば、小学校の子供さんたちが、「おじいちゃんおばあちゃん、もうちょっと出してよ」とか「きれいに出してよ」とかいう発言があると思うんです。同じ数値の回収のポイントだとなかなか動かないけど、馬の前にニンジン垂らすのと同じように、もう少し回収のポイントを。せいぜい1年か2年のオーダーだと思うんです、よその市と比べると3円ぐらいとか差がありますが、やっぱり恵那市が一生懸命やろうと思ったら、いくら旗を振ってもみんな動かないと思うんです。やっぱり、アメとムチだと思うんですが、ポイント数をちょっと上げて、東野は下から3番目ぐらいなのでちょっと恥ずかしいのですが、それを上げるにはどうしたらいいかを考えながら今の発言をしました。よろしくをお願いします。

■会長 事務局。

■事務局 地域の常設資源回収拠点、各所11カ所ある中で、委員が地域別で下から3番目ということもおっしゃったんですが、他市と比較するのも大事だということだと思っただけなんです。ですので、他市の状況を調査して、資源回収を増やしていく計画、目標、これは資源化率にかかわるんですが、そちらの計画の参考にしたいと思います。

■委員 資源回収所を増やすのもあるかもしれませんが、持ってきてボンと置く人が現実にみえるんです。だから、私もこの4月から順番に見回りというのをやっているんですが、ウェットな状態で放り込まれたりなどいろいろあって、段ボールはひもでくくってくださいと言っても、通勤の過程で放り込まれると何ともならないという現実があるんです。だから、やっぱり子供でもおだてて出す方向にもっていった方が得策だと思います。いかがでしょうか。なかなか行政に動いてもらえないので、強くこの委員会で話をし、予算を付けて、せいぜい何百円、何千円、何万円のオーダーでやれるわけですから、それをいっぺんに13地区の学校に流すんじゃなくて、ちょっと努力して見回って出しましょうということをつけて出してもらおうようにしないと。ただ交付金を出せばかりが能じゃないと思うんですが。

■事務局 御意見ありがとうございます。確かに御指摘のように、今は常設の回収拠点を

開設する方に重点が置かれており、管理の面についても検討はしていった、できるだけ皆さんが気持ちよく出せるように、また回収量も増やせるようなことを検討していきたいと思っております。

■会長 今のように具体的な方針、その辺り、皆様の日常生活を踏まえて御意見を頂ければと思います。

■委員 町内で1カ所しかありません。で、高齢化が進んでいて、そこへ持っていきができない人が増えています。各自治会にお願いして、ある程度置き場所を決めてもらって、役員くらいの方がその町の資源も取るようなことをしないと、ごみの削減は進んでいかないと感じています。

■会長 事務局。

■事務局 高齢化が恵那市全体で進んでいて、市内全域で4割ぐらいが65歳以上です。今御意見を頂いたようなことは少しずつ話として入ってきており、高齢福祉課とも相談しながら進めていきたいと思っております。

■会長 委員。

■委員 それに加えて、もっと出してほしいということでしたら、亡くなった両親の実家に戻ったりしますと、新聞を縛ってくれないかということをよく言われたんです。行くたびにする仕事の一つが新聞くくり。街の方だと紙袋にきれいに入れるだけで捨てられるみたいですし、皆さんの意見をちょこちょこ聞くと、縛るのが面倒だから段ボールに入れて中央板紙さんに捨ててきたということもよく聞きます。分別するのが大変だということで、だから、紙袋でも、お菓子の袋が今は紙袋に入れて縛って出していいということで結構皆さん出されているような気がするんです。私自身も、紙袋に入れて縛るだけなら大変楽で、縛るのは年を取るほど負担になりますので、出しやすいということを考えると、そういうやり方でもいいということにさせていただけると、新聞などは出しやすいと思います。

町の人から伺ってきた意見では、古着の回収は今まで小学校がずっとしてくれていたんですが、拠点を置いた結果、小学校が回収をしなくなって、PTAはとても楽になりました。だけど、古着を回収してくれないから困ると言って、あそこに古着の回収の施設を置いてもらえないかという話が出てきています。今日はそれを増やしてくれる話も出るのかと思ったら、リサイクルの啓発の話になりましたので、きれいな状態でしてもらえるかは分からないですが古着の回収もうまくできたらと思います。中学校は回収の中に古着が笠岡地区ではありましたので出せると思いました。皆さん古着を心待ちにされていました。

もう一点は、今お話を伺っただけ、読んできただけでも、水分が50%もありそれを飛ばすのにすごい燃料費がかかるんだとか、そういうのを知ると「もうちょっと気をつけなきゃ」と思うわけです。廃油はディーゼル車を動かすというのがチラシになっていて、すごく面白い、ちょっとわくわくする話です。今日初めて知りました。こういう話を子ども

にもするとか、皆さんに「ちょっといい感じ」というのも啓発の中に入れてくださると、気持ち的にも取り組みやすくなると思いました。

■会長 啓発活動は、地域の皆さんもそうですが、子供向け、小中高生向けにしっかりと働きかけることもすごく大事だと私も思っています。また、今出た意見のように、「大事ですよ」と言うこともとても大事だと思うんですが、具体的に生活に大きくかかわる部分ですので、皆様にとっての利便性や利益みたいなところがある方向性や施策が必要だと思うので、その辺りも含めていろいろ御意見を伺えればと思います。

■委員 啓発という観点で、7 ページ、可燃ごみの中味で、リサイクル可能な紙、これは雑紙のことですよ、これが 13%もあるということで、この雑紙をちゃんと分別して、燃えるごみには入れないということをやれば、理論上は 13%ごみが減ることになります。環境課でも雑紙の分別にかなり力を入れてパンフレット等を作られてきましたが、21 ページのアンケート、「ごみを減らすための新たな取組」というところに雑紙の分別が出てきてない。そういう意味ではまだまだ啓発が足りないのかなと思います。先日、恵那東中学校に行ったときに、中学生の子供たちから「雑紙はなんで分別しなきゃいけないのか」という質問を受けたんです。ですので、雑紙がこんなに混じっていて、分別すれば簡単に 13%も減らせるという啓発も必要だと感じました。ですので、見直しのポイントの中に、雑紙の分別、啓発も継続した方がいいと感じました。

■会長 事務局。

■事務局 御指摘ありがとうございます。確かに啓発が足りていないと思っておりますので、計画に盛り込んでいきたいと思っております。あと、バイオディーゼルの話が出ましたが、近江さん、いかがでしょうか。

■委員 先ほどバイオディーゼルのお話が出ましたので、カラーのチラシをごらんください。私たちは以前から事業所から出る廃食用油を中心に、恵那市の拠点で回収された分も一部含まれますが、そういったものを中心にバイオディーゼルを作っております。これを今度 12 月から軽油に 30%混合して明知鉄道を走らせる取組を開始するところです。バイオディーゼルの品質が飛躍的に向上したということもあるんですが、現状 5%しか混合してはいけないと法律で決められているものを、30%混合して、法律を 30%混合まで改正するための実証試験として走らせます。裏面の一番左下に空港関係の写真があります。空港では、日本航空さんの協力を得て既に九州では 30%混合の燃料の実証試験が始まっております。

今回明知鉄道については日本で初めてのディーゼル鉄道での高濃度のバイオディーゼル実証試験として始まります。今回中津川市の市民から集めた廃油で鉄道を動かそうということで、区長会で市民から集めるにはどうしたらいいかと。中津川市も恵那市同様拠点回収は行なっております。ただ、集まる量は恵那市も中津川市も大体市民から排出する廃

食用油の 10%にも満たない。なぜこれが進まないのかというところをいろいろ協議させていただきました。やはり拠点回収になると出しにくいのが大変で、液体なので移し替えるのも大変ですし、そこまで持っていくのも大変で、じゃあどうやったら家庭から出しやすいかという協議をさせていただいて、いろいろな案をいただいた中で、ごみステーションに出すところがあれば、家庭で油を詰めてそこへ出すのは一番やりやすいという意見にまとまったのが、ごみステーションでの回収です。

今回集めること自体も実証試験なので、どれぐらいの量が集まるかはまだ分からないのですが、来年の 4 月ぐらいまでにどのぐらいの量を出していただけるかというのが試験の内容です。

バイオディーゼルは入れている部分が CO2 ゼロカウントになるので、D30 といって 30%混合すると、単純に燃料を入れ替えただけで 30%の CO2 が削減できるという非常にすぐれた燃料です。今回、脱炭素化目標、2030 年 46%に向けた中で、30%ではまだ足りないの、これに加えてさらに 40%50%混合による影響の実証試験も行なっていく予定です。恵那市さんもぜひ。日本全国でいろいろな回収方法が取られていまして、ごみステーションで回収するのは珍しいです。拠点回収が一番多く、面白い取組としては、回覧板方式、回覧板と一緒にポリタンクが家庭に回っていき、そこに油を入れてくださいというところではほぼ 100%近い廃食油を集めている自治体もあります。ですので、ぜひ皆さんで知恵を出し合って、恵那市ではこういう取組をしましょうというところを決めていただくと、地産地消エネルギーとして、私たちは廃食用油をエネルギーに換えますので、協力いただければと思います。

■会長 ありがとうございます。私も不勉強で、今いろいろ教えていただいて、非常に今の状況では今後に必要な資源回収の一つかと思いました。

具体的な取組の方法についても提示していただきました。ぜひ委員の皆様、御自身の生活に照らし合わせて、どういった回収方法であれば出しやすいかとか、そういった部分の取組をするとまた皆様の意識や協力が得られるだろうというところを、ぜひ御意見いただければと思います。いかがでしょうか。

■委員 私、武並町の瀬瀬と申します。資源回収で、先ほどの東野の方がおっしゃるように、ステーションを作って今活動しているのですが、ここ何カ月かやってきて、反省があります。武並町はちょっと見直しを図ろうということで、ただごみを持ってくる人はPTAの関係、御近所の方、あと沿線の遠い人でお年寄りがみえたり、移動すると持ってこられないということがあり、武並町の中の自治連の自治会長を含め、環境部会のメンバーが各自治会に 2 名ずつ選出されていますが、実質名前はあっても仕事は正直に言ってあまりしていないということから、資源回収もみんなのために武並町で分かるように、こういうステーションがあるよと。ただ、管理方法も大変なことがいろいろ起きてくるんです。だ

から、環境部会に入っている人は、11月からだけど、それぞれ自治会長と環境部会と、僕もそこに入れられちゃったんだけど、朝8時半にチェックしましょうと。そうすると、全体を全部経験するわけなので、そうするとごみの回収や、変則でとんでもないごみが混ざって入っていたり、いろいろする部分をチェックしましょうと。そうすると、小学生も毎週火曜日に必ず6年生の子が交替で中身を見て掃除したりするという管理方法を今考えて、数字を少しでも上げようという目論見でやっているんですが。やはり先ほど言われたように、資源回収は中身をもう少し検討してもう少し幅広くやらないと、「これ何で捨てないの?」とか、古着の問題なんかもそうだと思いますので、そうして町ぐるみでやっていくということを進めている段階です。一つの参考として報告します。

■会長 ありがとうございます。いろいろな自治体の皆さんが試行錯誤しながらやっていたいてるんだと思いました。事務局でもそのあたりをぜひ集約して反映していただけたらと思います。

■委員 山岡の水野です。6ページ、プラスチックのことで。今恵那市はRDFにするのでプラスチックを分別して集めない方向だと聞きましたが、私たちが家庭のプラスチックを出す場合、可燃ごみと一緒に出しちゃっていますよね。これを見ると、それを粉砕して、燃やさずにRDFにするということですよ。で、それが、僕は実を言うと山岡で野菜の苗や花を温室で13年ぐらいやっていたんです。このときに必然的に出てくるのがプラスチックのケース、買いに行くと花が入ってくるあのケースがどんどん溜まっていくんです。それをどうやって出したらいいか。処理するとき、ケイナクリーンさんに行ったら、軽トラックに一杯山積みにして持っていったら、処理に10万円近くかかるということも言われました。

例えば家庭でも結構プラスチックが出るんですが、プラスチックを再利用する、プラスチックだけを回収できるような仕組みは何かないですかね。農業をやっている者にはプラスチックは必ず溜まっていくものなんです。そうすると、可燃ごみで出すには追い付かないというのが事業所も含めてあるんです。細かいことですが、そういうものの処理が、再利用に役に立つような気がするんですが。

■会長 委員。

■委員 具体的にプラスチックとはどういうものか。塩化ビニールとは違うのか。その辺の見分けと、ペットボトルの回収は、現状はラベルとキャップを取って水分を抜いて出すということですが、ボトル to ボトルという、もう一度使う、ペットボトルにするという方向に取り組んでいるのか、ほかのやり方で再利用する方法を取るのかを知りたい。

■会長 事務局。

■事務局 ペットボトルは、まだ何も決まっていないのですが、今後、まずビニールははがしていきたいと思っています。取った方が高く売れるというのが一つです。もう一つは、

ペットボトルからペットボトルを作るというリサイクルをするという話ですが、現実には、飲料を作っている企業とこれから話をしていきたいと思っております、その中でどのような回収方法であればいいのかとか、その辺を詰めていきたいと思っております。現在はペットボトルは集められてもう一度ペットボトルになるのは大体3割ぐらいだと言われております。それ以外はプラスチックの製品になります。例えばトレイやほかのプラスチック製品に換わったりして、最後は可燃ごみになってしまっています。まさにペットボトルを100%ペットボトルに持っていける形にもっていけないかと考えていますが、まだ皆さんに具体的取組を説明できる状況にありません。

■エコセンター所長 エコセンターの平崎です。お世話になります。農業で出たプラスチックは産業廃棄物なのでエコセンターでは扱いが今はできないものですが、ペットボトルの話もありましたが、いろいろな企業でそういった再利用、再生利用、例えばお花のポットはまたポットにというような話もちらっと聞いたことはありますので、そういった循環して使っていけるような方法も今後調べていくことが必要だと思っております。

■会長 委員。

■委員 ペットボトルに関してですが、噂かもしれませんが、ラベルをはがすことに関して、それを専門で仕事にしている人がいるからはがしてはだめだという話があります。恵那市の場合は、「その方たちのためにはがさないで出して」という話が私たちの中にはあるんですが、それは本当ですか。単純作業が得意な方たちがいらっしゃるのでその方たちの仕事を取らないように、あれを付けて出さなきゃという話になっているんですけど。

■事務局 恵那市でペットボトル回収を始めたときに全市で説明会をしながらやっていったんですが、そのときに、ペットボトルの中に PET1 マークがあるものだけがリサイクルできるということで、そのマークを確認するために恵那市はあえてそれをはがさずにやっていたという経緯があります。ただ、回収を長年やってきた中で、近隣市の状況を聞いても、はがしている自治体も大変多く、本当にはがすことによって価値が上がるという話もありますので、今後その辺を検討しながらその方法も変えていけばいいと思っております。

■委員 そういう専門の人はいない？

■事務局 はい。そういうことはないです。

■会長 行政側も改めて周知してください。委員。

■委員 笠置町の中谷です。紙を拠点に出す方法で、今度北小に拠点を作っていただいたのですが、私も個人的に紙や雑紙は出しているんですが、紙袋で縛らずにバラバラにして出しているんです。出し方は、私は中津川市に出しているんですが、行政によって違うんですか。それと、雑紙は、広告、チラシということですか。新聞紙と雑紙は？ 雑紙はどういう範疇ですか。

■事務局 新聞類というのは、新聞紙と、新聞紙の中に入っているチラシは一緒にくっ

てもらって新聞紙として出していただきたい。雑誌は、製本されているもの。例えばカタログや書店に売っているもの。段ボールは、よく皆さんが梱包で使っている裏表に紙があって中に波々の緩衝材が入っているものです。それ以外のリサイクルできる紙が雑紙に分類されます。雑がみの具体的な項目で言うと、ラップの芯、トイレットペーパーの芯、箱ティッシュのビニールを外した厚紙、お菓子の空ケース、菓子箱などです。もちろん日めくりの紙もです。

■委員 そうすると、持って行って処理するわけですが、新聞紙と段ボールと雑紙とは区別して処理されていくということだね？ 今は雑紙は出していいのか悪いのかどうですか。出していいんですね。そうすると、新聞をくくって出すというのは規制があるんですか。私は中津川市に出しているんですが、全然そういう規制がないです。

その辺で区別があるのかなと思って聞いたんですけど。恵那市は縛って出すということですね。

■事務局 そうですね。今御案内している恵那市の出し方は、各地域の資源回収拠点は地域の方に管理していただいているというところもあり、バラバラに出してしまうと管理も難しいこともあって、縛って出すというのを共通ルールとしてお願いしています。新聞紙と段ボール、雑誌、それぞれ縛って出してもらう。雑紙は、細かい紙類もあるので、紙袋に入れてそれを縛って出してもらうようにお願いしています。

■会長 その辺りは今後各自治区の皆様と協議しながら、そのニーズに合った、皆さんが出しやすくかつ効率的なところを検討いただけたらと思います。

■委員 今の質問の件ですが、お宅のところはまだデポはできてないわけですか。ごみ回収所は。

■中谷委員 私のところにはありませんが学校にあります。

■委員 そうしたらそこに、例えば米の袋なんかはだめですよとか、紙のひもでくくってくださいとか、それを回収所に書いて、私どもは貼ってありますし、山岡でも岩村でもそういうところがありますので、そういうのを見ていただいて……。

■委員 私が言ったのは、行政単位で違うのかなということです。

■委員 多分一緒のルールです。

■委員 実際そういうところがあるのでちょっと分からなかったので質問したんです。

■委員 統一されていると思います。

■委員 恵那北小学校に設置しておりますので、そこではルールが分かるようにしているはずですけど。

■委員 ビニールひもはだめですと。紙のひもでお願いしましょうというふうに統一して皆さん方の心を統一してごみを出している、そこなんですけど、そういうのを市民の皆さんが協力して出すようにしないと。私のところはこれでいいというのじゃなくて、ルールを

付けてお願いしたいと思います。

■委員 今、紙ひもで縛って出していただけるよう御協力いただくようにそれぞれのところをお願いしています。

■会長 今の点も、中間見直しのところで新たに整備していただいて、市民の協力が得られやすいように指針や示し方を検討してください。

私の進行の不手際で時間が限られてきました。

最後に一点だけ、22 ページ (3) 食品ロスについて、追加項目は大事な部分だと思えます。この内容等について委員から御意見等頂けたらと思えます。いかがでしょうか。

□□委員。

■委員 食品ロスというのは、使われなくて廃棄するという率が結構高いのですが、皆さんがスーパーで買うときに、消費期限の先の方のを誰もが買いますよね。それを、消費期限が近いからそれを買って早く食べようというぐらいの啓発活動を。そうすれば消費期限の早いものから減っていくので。僕は早いのを買っていくので女房に叱られます。「何でお父さんはちゃんと賞味期限の長いやつを買ってこなかった？」と。そうじゃなくて、食品ロスになるから早く食べないといけないからと、期限の短いものを買ってくるんです。そういうことを皆さんに徹底できれば絶対減ってくると思うんです。値段は変わらないので、商売上のことまで言えませんので。市民がそういう意識を持ったら、今日食べないとこれは捨てられると思ったらそれを買ってこないといけない。そういう運動が起きれば変わってくると思いました。

■委員 もう一つ、学校教育と結び付けて、小学校4年からは環境という授業があるみたいですので、食品ロスとかいろいろあるんですが、捨てるということを初めから教えるのではなく、ある程度ハングリーなことやららないと。学校で「期限が近いからだめだ」とかいうのではなくて、子供の教育からやって、一生懸命自分たちの周りのものを改善しましょうというふうにもって行っていただくと嬉しいのですが、いかがでしょうか。

■委員 先出し先使いですが、主婦の立場では、皆さんには申し訳ないですが、やっぱり私は奥から取ります。なぜかという、家に日にちの近いものを持って帰ると1日2日で調理しないとけないですが、私は1週間に1回しか買い物に行けないんです。それで、申し訳ないけど、週に1回買い物すると、今日明日の期限よりもその先を考えて買ってしまいます。逆の食品ロスになります。1日2日、帰ってきてすぐ料理すればいいですが、日にちが先のものなら食べられます。私は1週間先のが欲しいんですと思ながら奥から買います。1日2日なら、シールが貼ってある50円引きの今日の期限のなどを買って帰りますけど。買い物のサイクルによっては先のものを買わないといけないということがまあります。

■会長 御自身の買い物に行く頻度などに応じたそれぞれのフードロスの対策という話だ

と思います。頻繁に買い物に行ける方は身近なものを取って、逆に長いものをしっかり使い切ることがフードロスへの貢献になるというもあります。いろいろなモデルケースがあると思います。その辺り、事務局で、こういった形がフードロス低減につながるというモデルや、具体的なこと、学校教育との関連付けみたいなところで、いろいろな部分で御検討いただけたらいいと今のお話を伺っていて思いました。

□□委員。

■委員 同じような話ですが、フードロスを減らすには、買い過ぎないことが一番大事だと思うんです。余分なものを家の中に持ち込まない。そういう意味では、買い物の仕方、そういったところをうまく啓発していく、まず買い過ぎない、作り過ぎないというのが基本だと思いますので。よく言う、生ごみを減らすための「3 切る」、使い切る、食べ切る、水を切る。そういった啓発が必要だと思います。

■会長 ありがとうございます。私なんかも全然料理できないんですが、具体的な部分で、こういうことができそうかなというところがあるかなと思います。

□□委員。

■委員 事業ごみを扱っている者から現状の問題についてお話しさせていただきます。

市民の皆さんが食品ロスを減らす努力はもちろん重要ですが、事業所、スーパーから出る食品ロスも減らすことができれば一番理想です。現状、食品リサイクル法があって、岐阜県では関市に食品ロスを飼料化、家畜のえさにする施設があります。行政によってはスーパー等から出る食品ロス、食品廃棄物をそこに運んでえさにしてということができています。ごみを運ぶ私としてはそれに携わりたいという思いはあるんですが、排出するスーパー、事業所さんからすると、食品リサイクルの方に食品ロスのごみを回すと費用が高くなるという現状があり、どうしても二の足を踏んでしまう。その取組ができれば食品ロスを減らせるし、ごみの水分量も減らせて一石二鳥になります。その辺がいい形で解消されて、食品リサイクル法に則った事業ごみを減らすという取組ができればと思っています。

■会長 ありがとうございます。今の意見も貴重で、スーパーは利益を当然考えているので、その辺りの費用対効果が施策として還元できるものがあったり補助金も含めてぜひ意見を取り入れていただけたらと思います。

ありがとうございました。皆様から本当にいろいろ貴重な御意見を頂いてまだ議論が尽きないところかと思いますが、予定していた時刻を少し過ぎております。もし何かなければ、今出た意見を再度事務局でまとめていただいて、スケジュールにある令和5年1月に改めて今の審議を参考して意見を出していただくということで、本会議はひとまずここまでとさせていただきます。委員の皆様、よろしいでしょうか。

大変貴重な御意見ありがとうございました。それでは全ての議事が終了しましたので進行を事務局に返します。

4. その他

■事務局 委員の皆様、本日は貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

今後のスケジュールですが、頂いた意見を基に計画の策定します。1月に素案を提示できるように進めたいと思っています。

なお、お配りした資料2、本日見直しのポイントというところでまとめた項目ごとに御意見をいただきたいと、枠を作っております。こちらは、本日の会議を踏まえ、言い足りなかったことや普段の生活の中でお気づきのことがあるかと思っておりますので、皆様全員から11月25日までに同封の封筒返信いただければと思っています。

以上が事務連絡です。これで議事は終了しました。

5. 閉会

■事務局 井上副会長から閉会のあいさつをお願いします。

■井上副会長 長時間にわたり慎重審議を誠にありがとうございました。今日は大変意見をいただきましたので、こういった意見を行政でぜひ計画の見直しに反映していただきますようによろしくをお願いします。本日は御苦労さまでした。ありがとうございました。

[閉 会]